

原水爆禁止 2019 年世界大会実行委員会ニュース

発行：原水爆禁止世界大会実行委員会 電話:03 - 5842 - 6035
FAX:03 - 5842 - 6033 E メール：antiatom55@hotmail.com

2019 年
7 月 17 日発行

国際会議にオーストリア政府代表が 参加します！参加組織を急ごう！

オーストリア政府代表のゲオルゲ・ヴィルヘルム・ガルホーファー欧州統合外務省公使が国際会議から参加することが決まりました。国際会議の開会総会（3 日）に特別報告をおこないます。現在準備されている国際会議の主なプログラムと発言者を紹介します。ことしの国際会議は、2020 年・被爆 75 年に向けて、世界の反核平和運動の課題、運動方向を議論するきわめて重要な会議となります。

実行委員会参加のすべての中央団体、都道府県の実行委員会（原水協）から代表参加をよびかけます。宿舎（ホテル）の予約締め切りが迫っていますので、申し込みを急ぎましょう。

2019年世界大会・国際会議プログラム(案)

※このプログラム案は、7 月 12 日に開かれた世界大会実行委員会の運営委員会で確認されたものです。

■8 月 3 日(土) 会場：広島市文化交流会館・3 階銀河

◇開会総会 (14:00～)

- ・開会宣言、海外代表の紹介、議長団任命
- ・主催者あいさつ 野口邦和運営委員会共同代表
- ・被爆者のあいさつ 濱住治郎（日本被団協事務局次長）
- ・政府代表の特別報告
ゲオルゲ・ヴィルヘルム・ガルホーファー（オーストリア欧州統合外務省公使
- ・メッセージ紹介（各国元首、広島・長崎市長ほか）

◇第一セッション

テーマ：広島・長崎の原爆被害、核兵器の非人道性、ヒバクシャのたたかい

【導入発言予定者】

- ・専門家 齋藤 紀（元福島医療生協病院院長・福島わたり病院医師）
- ・広島被爆者
- ・マーシャル アバッカ・アンジャイン・マディソン（元上院議員）
- ・韓国被爆者
- ・ロシア オレグ・ボドロフ（フィンランド湾南岸公共評議会／映画監督）
- ・福島

※質疑応答

◇第二セッション

テーマ：核兵器禁止・廃絶と市民・運動の役割—2020年・被爆75年に向けた課題と運動

【導入発言予定者】

- ・アメリカ ジョゼフ・ガーソン（平和・軍縮・共通安全保障キャンペーン 議長）
- ・イギリス ハンナ・ケンプ・ウエルチ（核軍縮キャンペーン（CND））
- ・韓国 キム・ジンヨン（社会進歩連帯 政策・教育局長）
- ・日本 安井正和（日本原水協事務局長）

※質疑応答

■8月4日(日) 会場：広島市文化交流会館・3階銀河

◇第三セッション（9：30～）

テーマ：核兵器廃絶へ共同と連帯の推進—反戦平和、原発、環境、人権、暮らしなど運動とともに

【導入発言予定者】

- ・アメリカ ロザリー・ブルック（ピースアクション 財政・総務部長）
- ・スペイン クロエ・ムールヴェテル（デラズ平和研究センター）
- ・AG サニヨ 平和を教え、平和を作ろう／平和のための芸術ミッション／国際青年リレー行進者
- ・日本 沖縄 渡久地 修（オール沖縄幹事・日本共産党沖縄県議団団長）
- ・IPB ライナー・ブラウン（国際平和ビューロー 共同会長）

※質疑応答

◇分科会（14：00～18：00）

第一分科会：広島・長崎の原爆被害、核兵器の非人道性、ヒバクシャのたたかい

会場：広島市文化交流会館3階・銀河A

第二分科会：核兵器禁止・廃絶と市民・運動の役割—2020年・被爆75年に向けた課題と運動

会場：広島市文化交流会館3階・銀河B

第三分科会：核兵器廃絶へ共同と連帯の推進—反戦平和、原発、環境、人権、暮らしなど運動とともに

会場：鶴学園広島校舎201教室

■8月5日(月) 会場：広島市文化交流会館・3階銀河

◇閉会総会（10：00—11：30）

- ・分科会報告 第一分科会／第二分科会／第三分科会
- 科学者集会報告
- ・国際会議宣言の提案と採択
- ・閉会あいさつ